

【R 1 8】ノベル

C F N M

『放送部男子のアナ練は全裸で行います』
〔会話形式版〕

作：七条右京

【登場人物】

- ・ ^{みさき あんな}見崎杏奈 ・ ・ ・ 放送部部長
- ・ ^{みやもと りょう}宮本 涼 ・ ・ ・ 放送部新入部員

「」は台詞、『』は心の声

○放送部部室

新入部員初日

放送部員達がそろっている

見崎杏奈：

「今日から 1 年生の新入部員が入るわよ」

「女子三人に、男子一人よ」

「簡単に自己紹介をして貰うわね」

「それじゃあ、女子から」

簡単に自己紹介をする女子新入部員の三人

杏奈：

「はい、みんな宜しくね」

「次は、男子の自己紹介よ」

「男子の自己紹介は、裸で行うのが我が部の伝統なの」

「女子の前で、裸になるの恥ずかしいかもしれないけど、頑張ってね」

「それじゃあ、服を脱いで全裸になるのよ」

宮本涼：

「先輩、全裸って、パンツもですか？」

杏奈：

「そうよ、パンツも脱いで頂戴」

涼：

「ボク、女子におちんちん、見られるんですか？」

「恥ずかしいです」

「恥ずかしくて出来ません」

杏奈：

「男子の新入部員は、女子の前で全裸になる事が、我が部の一つの登竜門なのよ」

「これが出来なければ、入部は認められないわよ」

「さあ、どうするの？」

「私は、どちらでも構わないわよ」

涼：

「分かりました」

「脱ぎます」

「みんなの前で全裸になります」

服を脱いで全裸になる、涼
と同時に両手で股間を隠す

杏奈：

「手で前を隠しちゃ駄目よ」

「手を退けるのよ」

「気を付けの姿勢よ」

股間を隠していた手を退けて、気を付けの
姿勢をする、涼

杏奈：

「いいわよ、その姿勢で簡単に自己紹介をなさ
さい」